学校番号	３０４

令和３年度　地理・歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「新詳地理Ｂ」（帝国書院）「標準高等地図」(帝国書院)						
副教材等	フォトグラフィア　地理図説　（とうほう出版）						

人間社会を取り巻く自然環境に着目し、世界の各地域と比較しながら、その特徴を理解する。また、資源・産業等の事象を通して、社会のなかで生きる我々の活動を分析し、すでに学習した系統地理の知識をもとにして、世界の諸地域の様子を考察したい。現代の主な都市や地域がどのような過程のもとに形成されてきたかを考察し、文献だけでなく、映像を通じて視覚的に理解することに重点を置く。

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

視聴覚機器(パワーポイント・書画カメラ等)を利用して、視覚的認識に重点を置く

2　学習の到達目標

①現代世界の諸都市を地誌学の立場で考察し，発達の歴史的知識を養う。
①現代世界の諸地域を，他の地域や都市と比較しながら考察し，現代世界の地理的認識を養う
②地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料の活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○地理的諸事象や諸課題に興味･関心を抱き，それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ，結びつけることができる。 ○地理学習の意義を積極的に見いだし，そこで得た知識・技能・態度をより良い社会生活へ向けて，ないしは現代世界の諸地域で起こっている諸課題の解決に生かすことができる。	○地図化する過程を通じて地理的諸事象をさまざまな角度から分析・考察･解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方･考え方）を見いだすことができる。	○地理学習に必要とされるさまざまな資料を収集し，それらを的確に取捨選択し，調査・分析することができる。 ○文献や統計の分析，野外における諸事象の観察から，地理情報を見いだし，それを的確に地図化することができる。 ○地図化したことを，論理的に分析・解釈することで，レポートなどに的確にまとめることができる。	○地理的諸事象，諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深めることができる。 ○地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念（空間・環境・地域），地理的見方・考え方を身につけている。
評価方法	○すすんで授業に参加し、発問に対して積極的に考え、答える意欲を重視する。	○課題プリント等を通じて、講義の中で整理したポイントを的確に理解し、考察する能力があるかを重視する。	○インターネットを利用して得られる地理的情報を収集して課題として整理する力を重視する。	○定期考査を通じて授業で習得した知識や理解度をチェックする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界地誌 中国・韓国	○計画経済から改革開放路線への変化に伴い何がもたらされたのか経済面・貿易面を中心に理解を深めるとともに急速に進む工業化と都市化の現状とそれによる影響ついて具体的事例をもとに理解を深める。 ○改革開放政策に伴いもたされた農業・農村の近代化，産業構想の変化について理解するとともに，地域格差が拡大していることも把握します。 ○中国国内の多様な民族構成と文化的多様性について理解した上で，経済発展に伴い生活文化が変容していることを理解します。 ○経済成長に伴い深刻化する環境問題の現状について理解を深めます。 ○世界に広がる中国の影響力について産業面や資源獲得競争の面から理解を深めます。 ○韓国の歴史から急速な経済成長に至るまでの変遷について歴史的背景を踏まえながら理解を深め、経済成長に伴う工業化や都市化の進展とそれに伴い生じる問題について理解を深める。 ○韓国の文化の独自性について理解を深め、近代以降の日本との関係について理解を深める。 ○韓国と日本とを国土構造，先端工業を事例に比較し，その共通点・相違点について理解を深める。	○

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界地誌 東南アジア・南アジア・西アジア・中央アジア	○東南アジアについて，形式的な地域区分にもとづき，自然環境，歴史と文化・民族，農業，工業，ASEANの変化と課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○		○		a アジア諸地域について，東南アジア諸国の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b アジア諸地域について，アジア諸国の多様性に富む文化や民族，歴史的背景をふまえた地域の変容，ASEAN諸国にみられる農業の変化や工業の発展，地域格差や都市問題などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c アジア諸地域の自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，東南アジアの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d アジア諸地域の自然の特徴，アジア諸国の多様性に富む文化や民族，歴史的背景をふまえた地域の変容，ASEAN諸国にみられる農業の変化や工業の発展，地域格差や都市問題などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知	作業プリント 小テスト 授業参加に対する積極性を評価 定期考査の成績を評価する
		○南アジアについて，形式的な地域区分にもとづき，地形と気候，歩みとヒンドゥー教，インドの産業と生活の変化という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。		○		○		
		○西アジアと中央アジアについて，乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき，自然環境，イスラームの生活文化，交易と都市，資源と産業の面において，類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○		○			

							識を身につけている。	

1 学 期	世界地誌 ヨーロッパ・北アメリカ	○EU統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解を深めるとともに，統合へ向けての歴史的変遷について理解を深める。 ○EUにおける産業の変化について農業と工業を指標に理解を深めるとともに，新たな産業地域形成を目指す動きについても理解を深める。 ○EUにおける都市間競争と大都市の再編について市場統合，通貨統合との関わりから理解を深める。 ○EUが抱える諸課題として地域格差と環境問題を取り上げ，その克服へ向けた取り組みと国家間の協力関係について理解を深める。 ○冷戦終結後のEUの東方拡大の現状と課題について理解を深めるとともに，欧州以外の地域との関係についても貿易面を中心に理解を深める。 ○北アメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について理解を深める。 ○北アメリカの特色である多民族多文化社会の形成過程について歴史的背景を踏まえながら理解を深める。	○

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
2 学 期	北アメリカとその他の地域	○北アメリカ経済が世界最大と位置づけられる社会的背景について科学技術，鉱産資源，金融の側面から理解を深めるとともに，置かれている課題についても理解を深める。 ○北アメリカの鉱工業地域の変化について先端技術産業の発展との関わりから理解を深める。 ○アメリカにおける情報社会への移行に伴う大都市圏の拡大と地域分化の現状と課題について理解を深める。 ○世界地誌におけるその他の地域の自然環境やその地域の文化の多様性の特色について理解を深める。 ○ロシアについて，亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき，自然環境，歴史，産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○ ○ ○	○	○	○ ○	a世界地誌を扱う中で,アメリカとその他の地域に関わる主題を意欲的に考察し、地理学習への関心を深めようとしている b世界地誌を扱う中で,アメリカとその他の地域について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 世界地誌を扱う中で,アメリカとその他の地域という設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d世界地誌を扱う中で,アメリカとその他の地域という設定された主題について、地理的条件やそこで生活する人々の文化を理解し、その知識を身につけるようにする。 ａロシアについて，亜寒帯が広がる自然環境の地域にみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 Cロシアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集し	作業プリント 小テスト 授業参加に対する積極性を評価 学年末考査の成績を評価する

2 学 期	その他の地域	○ラテンアメリカについて，文化に着目した地域区分にもとづき，自然環境，文化，大土地所有制と農業の変化，工業化と生活の変化という特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。		○	○		た資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，ロシアの特徴や近年の動向について読み取ることができる。 bラテンアメリカについて，歴史的背景をふまえた地域の変容や，複雑な人種・民族構成や大土地所有制による農業の特徴が生まれたしくみ，鉱産資源を基盤とした工業化の進展と格差の課題などの地域的特色や地球的課題を，有機的に関連づけて動態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 cラテンアメリカの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，ラテンアメリカの地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。	
		○オセアニアについて，形式的な地域区分にもとづき，一つの大陸と太平洋の島々，移民の歴史と多文化社会，強まるアジアとの結びつきという特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。また，日本との結びつきを考察し，地域的特色への理解を深める。	○		○		aオセアニアについて，自然環境や歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 cオセアニアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとにオセアニアの地域的特色や近年の動向につい	

							て読み取ることができる	
3 学 期	人口問題	人口問題について，世界の人口問題を大観し，発展途上国と先進国のそれぞれについて，その要因や対策をとらえる。また，日本の人口問題の課題と解決への取り組みを考察する。	○		○		a発展途上国と先進国のそれぞれについて，人口問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 c人口爆発や少子高齢化の人口動態に関する統計や事例などの諸資料から，有用な情報を適切に比較・選択し，人口問題の動向や国・地域ごとの差異について読み取ることができる。	
	村落と都市	村落と都市について，その立地条件や発達の背景，村落や都市がもつ機能と人間生活のかかわりを考察する。		○	○		b村落と都市について，その立地や構造を，地域の歴史や自然条件，社会条件などをふまえて多面的・多角的に比較・考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c村落や都市の形態や分布，人口規模，都市の地域構造などに関する統計や地図などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，村落や都市の有する機能や発達経緯などについて読み取ることができる。	
	都市・居住問題	都市・居住問題について，世界の都市・居住問題を大観し，発展途上国と先進国のそれぞれについて，その要因や対策をとらえる。また，日本の都市・居住問題の課題と解決への取り組みを考察する。		○		○	b都市・居住問題について，世界の都市・居住問題の要因や対策をふまえて，日本の都市・居住問題の対応と課題について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 d発展途上国，先進国，日本の都市・居住問題の特徴	

3 学 期	民族と領土問題	民族・領土問題について，現代世界の民族・領土問題を大観し，そのおもな原因と共生に向けた取り組みを考察する。また，日本の領土をめぐる問題や日本国内で暮らす外国人との共生の課題を考察する。	○	○			や，解決への道筋などを理解し，その知識を身につけている。 a民族・領土問題について，そのおもな原因と共生に向けた取り組みに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b民族・領土問題について，世界各地や日本の事例を取り上げ，問題が起こる背景や，これを解決して民族が共生するための方策を，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料の活用　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。